

ヒューマンインタフェースシンポジウム

Human Interface 2023



ヒューマンインタフェースシンポジウム 2023
2023年9月6日(水)～8日(金)
青山学院大学 相模原キャンパス



シン・シンポジウム

2019年に端を発したCOVID-19はこの世界にとってまさにBC(Before Covid)とAD(After covid)と呼んでも良いくらいのインパクトを与えました。その影響をネガティブに捉えることは簡単ですが、個人的には江戸時代末期における黒船来襲のように、新しい世界のあり方を模索するという意味でポジティブに捉えられないかなと考えています。Zoomを始めとするオンラインでのミーティングやメタバースの発展は、まさにその一端であると言えるでしょう。ヒューマンインタフェースシンポジウムにおいても、ポストコロナでのシンポジウムのあり方を模索する必要があると思います。昨年度は対面がメインで実施されました。今年度はさらに進んだ対面とオンラインの良いところを上手く融合させたハイブリッド形式の新しい時代、まさに「シン・シンポジウム」を提案したいと考えています。

オンラインは例えば記録と意見共有が容易であり、特に意見共有においては、発表を聞きながらリアルタイムに実施することができます。これはまさに動画配信時代のニューノーマルに他ならず、これを学会セッションに積極的に採り入れることで、他の人が発表をどう聞いているかを感じながら参加することができます。このようなオンラインの良さを対面にも採り入れることが、ハイブリッド形式のシンポジウムだと思うのです。

開催地は青山学院大学相模原キャンパスです。青山(渋谷)ではありません。喧噪を離れ、ゆったりとした空間の中で新しい時代のハイブリッド形式のシンポジウムを是非ご体験ください。みなさまにお会いできるのを楽しみにしております。

大会長 伊藤 雄一(青山学院大学)

■主催：特定非営利活動法人 ヒューマンインタフェース学会

■協賛学会

映像情報メディア学会、応用物理学会、教育システム情報学会、計測自動制御学会、サービス学会、システム制御情報学会、自動車技術会、照明学会、人工知能学会、スマートサウンドデザインソサエティ、スマートライフ学会、精密工学会、電気学会、電子情報通信学会、日本VR医学会、日本化学会、日本感性工学会、日本機械学会、日本原子力学会、日本建築学会、日本工学会、日本色彩学会、日本手話学会、日本心理学会、日本生活支援工学会、日本生体医工学会、日本ソフトウェア科学会、日本知能情報ファジィ学会、日本人間工学会、日本バーチャルリアリティ学会、日本保全学会、日本リハビリテーション医学会、日本リハビリテーション工学協会、日本ロボット学会、バイオメカニズム学会

Human Interface 2023



■日程表

9/6

受付開始 9:00

9:30 ~ 11:00

12:00 ~ 14:30

14:45 ~ 16:15

16:30 ~ 18:30

※ A 会場→D 棟 1 階 114 教室 ※ D 会場→D 棟 1 階 106 教室 ※ G 会場→D 棟 1 階 103 教室
※ B 会場→D 棟 1 階 113 教室 ※ E 会場→D 棟 1 階 105 教室 ※ H 会場→D 棟 1 階 115 教室
※ C 会場→D 棟 1 階 107 教室 ※ F 会場→D 棟 1 階 104 教室

D 会場

E 会場

ワークショップ 1

ワークショップ 2

対話発表 6T (会場: F 棟 1 階 学生ラウンジ)

A 会場

B 会場

討論発表 6A1
コミュニケーション支援

討論発表 6B1
交通・安全

D 会場

E 会場

F 会場

G 会場

講習会 コース 1

講習会 コース 2

講習会 コース 3

講習会 コース 4

9/7

受付開始 9:00

9:30 ~ 11:00

12:15 ~ 14:45

15:00 ~ 15:30

15:30 ~ 16:30

17:00 ~ 17:45

18:00 ~ 20:00

A 会場

B 会場

討論発表 7A1
障がい者・学習支援

討論発表 7B1
VR・AR

対話発表 7T (会場: F 棟 1 階 学生ラウンジ)

HI2023 大会長挨拶・HI2024 アピールタイム・企業展示アピールタイム (E 棟 2 階 201 教室)

特別講演 (会場: E 棟 2 階 201 教室)

ミニ講演 in JAXA

イブニングセッション in JAXA

9/8

受付開始 9:00

9:30 ~ 11:00

11:00 ~ 12:30

12:30 ~ 14:00

14:15 ~ 15:15

15:15 ~ 15:30

A 会場

B 会場

C 会場

討論発表 8A1
UX1

討論発表 8B1
生体信号処理

討論発表 8C1
学習・教育

F 棟 1 階 学生ラウンジ

H 会場

学生ランチョン !!

ワークショップ 3

A 会場

B 会場

C 会場

討論発表 8A2
コミュニケーションデザイン

討論発表 8A2
VR・AI

討論発表 8A2
UX2

タウンホールミーティング (会場: F 棟 1 階 学生ラウンジ)

閉会式・プレゼンテーション賞表彰式 (会場: F 棟 1 階 学生ラウンジ)

Human Interface 2023



● 9月6日 (水)

■ ワークショップ

WS1 「作って学ぼう「見守りセンサー」

効果的な使用方法と設置場所を考える」(9:30～11:00)

WS2 「コミュニケーションによるインタフェース研究を考える」

(9:30～11:00)

■ ワークショップ1 (9:30～11:00 会場：D会場 (D棟1階106教室))

「作って学ぼう「見守りセンサー」

効果的な使用方法と設置場所を考える」

提案組織：アクセシブル・インタフェース専門研究委員会 (SIGACI)

介護用の「見守りセンサー」を製作体験しながら、センサーを家のどこに設置すれば、当事者ご本人にとっても、ご家族にとっても、効果的に使えるのかを話し合うワークショップです。介護の現場を支援する機器を作るにあたり、どのような仕様にするのが良いか、という観点が身に付きます。トイレやベッドでの使用を想定して、簡易的に環境再現を行い、製作した見守りセンサーを使って様々な実験を試みます。

参加申し込み先：

田中 久弥 (工学院大学) : hisaya@cc.kogakuin.ac.jp

登壇予定者：川村 雅子 (Enjoy Life SYSTEM)

■ ワークショップ2 (9:30～11:00 会場：E会場 (D棟1階105教室))

「コミュニケーションによるインタフェース研究を考える」

提案組織：コミュニケーション支援専門研究委員会 (SIGCE)

With コロナ時代を迎え、オンラインツールをコミュニケーションにどう活用していくか、模索が続いている。オンライン or 対面のような対立軸ではなく、双方のメリットを活かしつつ、共有されるべき情報がより効果的に送受信できる手段を選択する。つまり、実際の情報共有の前に、どの手段を選択するかのプロトコル確認があり、その手段に対する是非が常につきまとう状況もコミュニケーション全体の評価にも影響があるように思われる。

人同士の情報共有だけでなく、ChatGPT など大規模言語モデルに基づく対話的な情報整理手段の活用や、スマホなどの通信デバイスやXR 機器などの映像提示デバイスの技術革新が進む現在、コミュニケーションによるインタフェース研究を改めて考える機会としつつ、SIGとして捉えるべき方向性についても検討したい。

当日は、事前に SIGCE 運営委員から集めた「コミュニケーション支援に関する 100 の疑問」について、ディスカッションを予定している。ただし、紹介は学生による司会進行とし、開始 30 分間は当事者および運営委員らの発言を禁止、学生の発言を全員で「なるほど!」「いいですね!」などとリアクションするルールで進める。

問い合わせ先：

石井 裕 (岡山県立大学) : ishii@cse.oka-pu.ac.jp

Human Interface 2023



■講習会

コース 1 (16:30 ~ 18:30)

「事例で学ぶ人を扱う工学研究の倫理」

コース 2 (16:30 ~ 18:30)

「研究テーマの昇華法 –曖昧なテーマを論文や発表資料に変えるには–」

コース 3 (16:30 ~ 18:30)

「ヒューマンインタフェース研究のための「数理・データサイエンス・AI」
とうまくつきあう方法」

コース 4 (16:30 ~ 18:30)

「メタバース /VR の教育の場への活用」

■コース 1

「事例で学ぶ人を扱う工学研究の倫理」

(16:30 ~ 18:30 会場：D 会場 (D 棟 1 階 106 教室))

人を対象として扱う研究活動では、人権やハラスメント等、対象者に与える影響について注意しながら実施する必要があります。人を扱う研究の中でも医学・看護学系とは異なり、ヒューマンインタフェース学会の中核をなす工学系や心理学系等の非医学系関連領域では、研究倫理に対する温度差が非常に大きく問題になっている。こうした背景に基づき本企画では大学院生や学部生にも判り易くヒューマンインタフェース分野の研究倫理を解説する。

受講にあたってのお願い：

「事例で学ぶ 人を扱う工学研究の倫理 ～その研究、大丈夫？ (近代科学社) 著者 福住 伸一・西山 敏樹・梶谷 勇・北村 尊義」を購入の上ご参加ください。

講師：福住 伸一 (理化学研究所)

国立研究開発法人理化学研究所革新知能統合研究センター副チームリーダー。東京都立大学客員教授、公立千歳科学技術大学客員教授。1986 年慶應義塾大学大学院工学研究科修士課程修了。同年 NEC 入社。2018 年 4 月より理化学研究所。東京大学情報学環客員研究員。工学博士 (慶応義塾大学)、認定人間工学専門家、NPO 人間中心設計推進機構認定人間中心設計専門家。科学技術の社会需要の研究、ヒューマンインタフェースの心理学的・生理学的研究および人間中心設計プロセス関連の研究開発に従事。日本人間工学会理事、人間工学専門家認定機構長、ヒューマンインタフェース学会理事・監事を歴任。現在、国際人間工学連合 (International Ergonomics Association (IEA)) 理事 (Advisory Group on Standardization)。2008 年より金沢工業大学感動デザイン研究所非常勤講師、2010 年より首都大学東京 (現東京都立大学) 大学院システムデザイン専攻非常勤講師、2014 年度はこだて未来大学客員教授。ISO TC159 (人間工学) /SC4 (HCI) 国内委員会主査及び国際エキスパート。ISO/IEC JTC1/SC7 (ソフトウェアエンジニアリング) Quality in Use 国際チーフエディタ。2020 年より ISC TC159/SC4-ISO/IEC JTC1/SC7 Joint Working Group28 (Common Industry Format for usability) 共同議長。2021 年度経済産業省産業標準化事業経済産業大臣賞受賞。

Human Interface 2023



講師：西山 敏樹（東京都市大学）

東京都市大学都市生活学部・大学院環境情報学研究科准教授。博士（政策・メディア）。1976年東京生まれ。慶應義塾大学総合政策学部社会経営コース卒業、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科後期博士課程修了。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特別研究専任講師、慶應義塾大学医学部特任准教授、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特任准教授等を経て現職。日本イノベーション融合学会理事長、ヒューマンインタフェース学会評議員なども務める。専門領域は、ユニバーサルデザイン、モビリティデザイン、社会調査法等。交通用車両の開発に関する大型プロジェクトを多数経験。ユニバーサルデザインに関わる地域開発を多数手掛けており、研究や実務の成果の表彰も18件にのぼる。

講師：梶谷 勇（産業技術総合研究所）

国立研究開発法人産業技術総合研究所人間拡張研究センター主任研究員。1999年筑波大学大学院博士課程工学研究科修了。博士（工学）。2000年電子技術総合研究所入所、組織改編を経て現職。電動義手、福祉工学、介護ロボット塔の開発、評価、社会実装等に関する研究に加え、国プロ等での開発事業者らの倫理審査申請支援やガイドライン作成の経験を経て工学領域での倫理審査に関する研究にも従事。

講師：北村 尊義（香川大学）

2015年京都大学大学院エネルギー科学研究科博士後期課程を指導認定退学。博士（エネルギー科学）。同年立命館大学情報理工学部助手、2019年同助教、2021年2月より香川大学創造工学部造形・メディアデザインコースに准教授として着任し、現在に至る。ヒューマンインタフェース学会ではシンポジウムにて2013年、2014年、2015年、2018年の優秀プレゼンテーション賞を受賞している。また、会誌編集委員、電子広報委員や研究会委員として活動している。研究実績は人の行動促進やコミュニケーション支援、楽器習得支援、観光支援、防災減災など幅広い領域にあり、研究方法としてはシステムデザインの提案とそのプロトタイプ評価が多い。教育方面では「積極的な学びの姿勢に不安を感じさせない大学初年次教育」に向けた活動が評価され、心理的安全性 AWARD2023 で最高位の Platinum Ring を受賞している。

■コース2

「研究テーマの昇華法

—曖昧なテーマを論文や発表資料に変えるには—

(16:30～18:30 会場：E会場（D棟1階105教室）)

論文の書きやすさや口頭発表の分かりやすさは、それまでの研究の取り組みで曖昧になりがちな「研究テーマ」をどれだけ高い解像度で整えてこられたかに大きく依存します。研究テーマは、ビジョンや課題、あるいは問題といった要素を論理的に組み合わせて構築するものであり、この構造こそが、結果の価値付けや結論導出の土台、あるいは話題展開の骨子となるためです。本講演では、テーマの構造を設計し、それを論文や発表資料に昇華させる工程を、ゲームデザインなどの喩えを交えて解説します。

講師：石原 尚（大阪大学）

大阪大学大学院工学研究科機械工学専攻講師。2009年頃に日本学術振興会特別研究員（DC1）として独自の子供型アンドロイドロボットの開発に着手し、現在も高機能化のための研究を展開。2014年同研究科にて博士（工学）を取得後、2016年から2020年までJST さきがけ研究者。SNS やブログにて研究・執筆・発表の基礎の解説を配信。著書に「卒論・修論研究の攻略本」がある。

Human Interface 2023



■コース3

「ヒューマンインタフェース研究のための

「数理・データサイエンス・AI」とうまくつきあう方法」

(16:30～18:30 会場：F会場 (D棟1階104教室))

データサイエンス・AI教育を付加価値として取り入れていくことは、その研究分野の活性化や人材育成の強化につながります。たとえば、ヒューマンインタフェース研究においても、人間の知覚、認知、行動などのデータ分析に基づき、新しい技術を提案する研究などでは、データサイエンス・AIの素養を身に着けた人材の活躍が期待されます。多くの人の理解が議論へと発展し、分野としての新しい価値創造へとつながるように、まずは、わかりやすくデータサイエンス・AIを学べるためのツールなどの紹介をしながら、文理を問わず学ぶ際に必要なサイエンスリテラシーなども含めて解説していきます。

※聴講者の方はPC持参をお願いいたします。

講師：武藤 ゆみ子 (玉川大学)

玉川大学脳科学研究所、先端知能・ロボット研究センター准教授。日本学術振興会特別研究員(DC2)を経て、東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻博士後期課程修了。博士(理学)。2021年12月「AIとうまくつきあう方法-教養としてのAIリテラシー」を出版、2022年4月文理を問わず全学部生を対象に「数理・データサイエンス・AIリテラシー」新規開講。

■コース4

「メタバース /VRの教育の場への活用」

(16:30～18:30 会場：G会場 (D棟1階103教室))

本講演では、メタバースとバーチャルリアリティ (VR) が教育の未来をどのように活用できるかをソーシャルVRでの取り組みから探ります。教室という空間やアバタという身体に関する技術が学習体験をどのように変容させ、新たな教育の可能性を創出するかについて深く掘り下げます。講演では、メタバースが教育に与える潜在的な影響や、教育者や学習者にとっての利点、そして挑戦についても議論します。これらの技術がどのようにして教育の質を向上させ、学習者の参加とエンゲージメントを深めることができるのかについて事例を交えて解説します。

講師：近藤 亮太 (慶應義塾大学)

2021年豊橋技術科学大学大学院工学研究科情報・知能工学専攻博士後期課程修了。博士(工学)。2021年4月より日本学術振興会特別研究員PD、2022年4月より慶應義塾大学理工学部特任助教併任。

講師：雨宮 智浩 (東京大学)

東京大学情報基盤センター教授。2002年東京大学工学部機械情報工学科卒業、2004年東京大学大学院情報理工学系研究科修士課程修了、NTTコミュニケーション科学基礎研究所研究員、UCL客員研究員を経て、2019年東京大学大学院情報理工学系研究科准教授、2023年より現職。本学会理事、日本バーチャルリアリティ学会理事等を歴任。博士(情報科学)。著書に『メタバースの教科書：原理・基礎技術から産業応用まで』(オーム社)。

ヒューマンインタフェースシンポジウム

Human Interface 2023



■対話発表（49件）

（12:00～14:30 会場：F棟1階 学生ラウンジ）

発表プログラムは後ページをご参照下さい。

■討論発表（6件）

発表プログラムは後ページをご参照下さい。

Human Interface 2023



● 9月7日 (木)

■ 特別講演 (15:30 ~ 16:30 会場: E棟 2階 201 教室)



「？」から「！」へいざなう
～テレビ番組制作、そして「コトづくり」から
ヒューマンインタフェースを考える～

村松 秀 (近畿大学 / 元 NHK)

演者は、30年以上にわたり NHK のディレクター・プロデューサーとして番組制作を行ってきた。機械を介して人と人とのかかわりを考えるのがヒューマンインタフェースの概念の一つだとすると、テレビ番組や映像コンテンツは、テレビやスマホといったデバイスを介し、制作者と視聴者という物理的に遠く離れた人同士の「見えないコミュニケーション」を司っている、という意味において、ヒューマンインタフェースの視点で捉え直すことができるだろう。

番組はとことん視聴者の方々の心を動かしながら、感動や気づき、問題意識、一歩前へと踏み出す勇気、といったものをもたらしていく。そのために心がけてきたのが、『？』から『！』へといざなっていく」ことである。

代表的な「？」は番組タイトルであろう。例えば「孤独のアンサンブル」という特番がそうだ。「孤独」と「アンサンブル」という相矛盾する言葉が共存することで視聴者に強い「？」を抱かせ、番組の中身をどうしても見たくなる効果をもたらす。これがいったいどう「！」につながるだろうか。

科学エンタメ番組「スイエンサー」で取り扱うテーマも、「バースデーケーキのろうそくの火を一息で消したい」「スパゲッティのソースの飛びはねをなくしたい」など、言われればとても気になるギモンを取り上げ、視聴者に「？」をもたらしてきた。ギモンを解消するスゴ技にたどり着いたときの喜びは「！」となる。

他にも、近作「日本エコー遺産紀行 ゴスペラーズの響歌」などを事例に、『？』から『！』へといざなっていく」ことで作り手と視聴者との見えないコミュニケーションを育んでいく番組制作には、ヒューマンインタフェースを考えていくヒントが内包されていることを提示してみたい。

また、演者は 2022 年にうつった近畿大学にて、「人の心を動かし豊かにしていく『コトづくり』のプロデュース」を看板に掲げ、様々な実践活動に挑んでいる。そこで実感するのは、テレビ番組制作での『？』から『！』へのノウハウは、直接の体感型企画においてもきわめて強力に作用する、ということである。朝ドラ PR イベントでのインスタレーションの例などをもとに、「コトづくり」自体がヒューマンインタフェースとしての機能を果たしていることを語ってみたい。

Human Interface 2023



【プロフィール】

1990年、東京大学工学部卒業。同年、NHK入局。「ためしてガッテン」「サイエンス」「NHKスペシャル」など様々な科学番組を制作。中でも環境ホルモン問題や、米ベル研究所での「史上空前の論文捏造」を徹底的に取材、番組化するなどした。またプロデューサーとして新番組の開発やエッジの効いた特番制作を担う。主な番組に「さし旅」「マサカメTV!」「発掘!お宝ギャラリー」「もふもふモフモフ」「岩合光昭の世界ネコ歩き」「コロナ時代の人情酒場 横浜野毛の1か月」「指揮者なしのオーケストラ 第9に挑む!」など。

2018年、東京大学大学院総合文化研究科・客員教授（～2021年）。

2022年、NHKを退職、近畿大学総合社会学部・教授（マスメディア専攻）に就任。番組制作にも関わりつつ、人の心を動かす「コトづくり」プロデュースをテーマに、様々なセクターの方々との実践活動にチャレンジしている。単著に「論文捏造」（中央公論新社）、「女子高生アイドルは、なぜ東大生に知力で勝てたのか?」（講談社）、「孤独のアンサンブル～コロナ禍に『音楽』の力を信じる～」(中央公論新社) など。文化庁芸術祭大賞、バンフ・テレビ祭大賞、科学ジャーナリスト大賞など受賞多数。

■ 討論発表（6件）

発表プログラムは後ページをご参照下さい。

■ 対話発表（49件）

（12:15～14:45 会場：F棟1階 学生ラウンジ）

発表プログラムは後ページをご参照下さい。

■ HI2023 大会長挨拶・HI2024 アピールタイム・企業展示アピールタイム

（15:00～15:30 会場：E棟2階201教室）

■ ミニ講演 in JAXA（17:00～17:45）

「宇宙に憧れて」

長谷川 晃子（宇宙航空研究開発機構）

「ねえねえお母さん、お月様のところへロケットで行ったらお月様は外国なの」ふと何気ない一言を母に言ったあの時から35年。まさか宇宙関係の仕事に携われるとは夢にも思っていませんでした。アンドロメダ銀河の美しさに感動し、天文台見学、プラネタリウムと全ての出来事が少しずつ心に刻まれてきました。耳の不自由な子供たちが知りたいと思うことを積極的に“その場”で聞くことができる環境があれば、どんなに目を輝かせて、宇宙に対する興味を深めてくれるだろうかという気持ちを原動力に、様々な荒波を乗り越えてきた気がします。その中でも印象深く残ったはやぶさ2地球帰還のお話しも交えながら、お話ししたいと思います。

■ イブニングセッション in JAXA（18:00～20:00）

※別途申込が必要となります

Human Interface 2023



● 9月8日 (金)

■ ワークショップ

WS3 「「道具」としての人工知能との関係を考える」 (11:00 ~ 12:30)

■ ワークショップ 3 (11:00 ~ 12:30 会場: H会場 (D棟1階115教室))

「「道具」としての人工知能との関係を考える」

提案組織: デザイン思想・哲学専門研究委員会 (SIGDPs)

文章作成、翻訳、画像認識・生成、データ解析・予測など人工知能を利用したツールが実用化され、実生活の中で急速に広まっている。一方で、こうしたツールの使い方やデータの扱いに関する規制、高性能化する機能への不安などが社会問題としてあげられている。そして、人工知能の意味や使用に関し、哲学、法学、社会学など人間、社会とかわる学問領域から重要な知見が提供されている。こうした状況において、人間と技術のよりよい関係をデザインするヒューマンインタフェースという観点からも、人工知能と使用者の関係を理解し、設計するためのさらなる知見が期待されている。

本ワークショップでは、「道具」という視点から、人工知能と使用者、設計者との関係について考えを深めてみる。

そこで、道具としての人工知能の位置づけ (柴田崇、北海学園大学、メディア論)、道具の原型にもとづく人工知能との関係の分析 (上杉繁、早稲田大学、人間-技術関係論)、道具としての人工知能の人間中心設計 (安藤昌也、千葉工業大学、UX デザイン) について話題提供を行い、指定論者・司会 (金光秀和、法政大学、技術哲学) のもとで議論を展開する。

問い合わせ先:

上杉 繁 (委員長) 早稲田大学: wesugi@waseda.jp

金光 秀和 (副委員長) 法政大学: kane32@hosei.ac.jp

登壇予定者: デザイン思想・哲学専門研究委員会専門委員 3名 + 指定論者・司会 1名

Human Interface 2023



■ 討論発表 (18 件)

発表プログラムは後ページをご参照下さい。

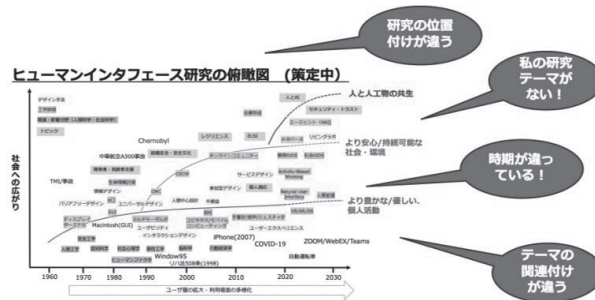
■ 学生ランチョン !! (11:00 ~ 12:30 会場: F 棟 1 階 学生ラウンジ)

学生 & 若手の交流企画! 学生の皆さんには無料のランチがあります!

■ タウンホールミーティング (14:15 ~ 15:15 会場: F 棟 1 階 学生ラウンジ)

「ヒューマンインタフェース研究の未来を一緒に考えましょう」

- ・参加方法 1: この日までに miro を使って自分で書き込む
https://miro.com/app/board/o9J_lFZ1svY=?share_link_id=173812620776
- ・参加方法 2: シンポジウム期間中ポスター印刷した俯瞰図に書き込む
- ・参加方法 3: タウンホールミーティングで主張する!



■ 閉会式・プレゼンテーション賞表彰式

(15:15 ~ 15:30 会場: F 棟 1 階 学生ラウンジ)

9月6日 (水)

ワークショップ

D会場 (D棟 1階 106教室)	E会場 (D棟 1階 105教室)
<p>WS1 9:30 ~ 11:00</p> <p>作って学ぼう「見守りセンサー」 効果的な使用方法と設置場所を考える</p>	<p>WS2 9:30 ~ 11:00</p> <p>コミュニケーションによるインタフェース研究を考える</p>

対話発表

会場：F棟 1階 学生ラウンジ	
<p>6T 12:00 ~ 14:30</p> <p>審査員：北村 尊義 (香川大学) 高嶋 和毅 (東北大学)</p>	<p>6T 12:00 ~ 14:30</p> <p>審査員：布川 清彦 (東京国際大学) 雨宮 智浩 (東京大学)</p>
<ul style="list-style-type: none"> • 6T-D1 VR空間内操作コマンドにおけるフットジェスチャのUI特性分析 (2) - 立位・座位体験での比較 - 樋口 雄大 (立命館大学), 浦野 雅也 (ウルシステムズ) 柴田 史久, 木村 朝子 (立命館大学) • 6T-D2 VR空間の展示会で接客するエージェントの動作が展示物やその エージェント自身の印象に及ぼす効果調査 井上 路子, 日置 翔太, 岩崎 美由子, 米田 駿介, 西山 正志 (鳥取大学) • 6T-D3 Sociable Dining Table: テーブルの上に棲まうミニマルクリ ャの提案 山崎 布友美, 多田 魁登, 本所 然, 長谷川 孔明, 大島 直樹 岡田 美智男 (豊橋技術科学大学) • 6T-D4 RunRu for Kids: 身体能力の拡張を志向するパーソナルビークル とそのプレイフルインタフェース 豊島 直, 上村 綜次郎, 長谷川 孔明, 岡田 美智男 (豊橋技術科学大学) • 6T-D5 <Talking-Bones> との関わりにおけるクリエイティビティポ ケットのデザイン 伊藤 里奈, 石山 智也, 長谷川 孔明, 岡田 美智男 (豊橋技術科学大学) • 6T-D6 パストレーシングを用いたモバイル端末向け AR システムの検討 笹川 冨太良, 山本 知仁 (金沢工業大学) • 6T-D7 VRRoomDesigner: 空間座標入力で3次元部屋環境モデルを作成 する VR アプリケーションの改良と拡張 党 文博, 岡 哲資 (日本大学) • 6T-D8 思い出の情景を表す画像生成とインタラクティブな修正による 思い出想起支援 安藤 雅行, 大津 耕陽, 泉 朋子 (立命館大学) 	<ul style="list-style-type: none"> • 6T-D9 PoKeBo Cube: 子どもたちとの協働的な学びの場の提案 関川 泰地, 石山 智也, 長谷川 孔明, 岡田 美智男 (豊橋技術科学大学) • 6T-D10 Muu: ラポルトークを志向した会話の場の生成について 大内 直, 長谷川 孔明, 岡田 美智男 (豊橋技術科学大学) • 6T-D11 UI/UX デザイン手法を用いたソーシャルロボットのデザイン 開発 (2) - 未来大ロゴをモチーフとしたプロトタイプの開発事例 - 上田 果奈, 鈴木 涼太, 山内 翔, 長田 純一 (公立ほこだて未来大学) • 6T-D12 ScrollMate: スマートフォンとの付き合い方を探るためのイン タフェースのデザイン 新井 恒陽, 長谷川 敦士 (武蔵野美術大学) • 6T-D13 位置情報と拡張現実を用いたコミュニケーションインター フェースの提案 鈴木 克磨, 川合 康央 (文教大学) • 6T-D14 高等教育機関向けの LMS におけるデジタル教材のアクセシビ リティ強化についての検討 高須賀 惇也, 荻田 知則 エルブエラ ヴォン ラルフ デイン マルケズ, 榎木 裕貴 今野 順, 村瀬 由加里, ペラレーズ テオドロ ラモン 岡崎 加奈子, 八木 良太, 松本 有紀 (愛媛大学) • 6T-D15 会話要求伝達と会話可能状況共有によりオフィス外メンバに出勤 を促すバーチャルオフィスの開発 黒崎 航平, 杉澤 亮太, 藤田 欣也 (東京農工大学) • 6T-D16 問診システムへの実装に向けた視力低下糖尿病患者の視力低下 状態推定手法の検討 小日向 大樹, 本吉 達郎, 高木 昇, 澤井 圭, 増田 寛之 (富山県立大学)

会場：F棟1階 学生ラウンジ	
6T 12:00 ~ 14:30 審査員：山本 倫也 (関西学院大学) 中茂 睦裕 (湘南工科大学)	6T 12:00 ~ 14:30 審査員：村田 和義 (青山学院大学) 阪田 真己子 (同志社大学)
<ul style="list-style-type: none"> • 6T-D17 VRを用いた川崎市の氾濫シミュレーションシステム 北山 若葉, 川合 康央 (文教大学) • 6T-D18 SSVEP-BCIを想定した ear EEG 計測電極の評価 近藤 蒼大, 田中 久弥 (工学院大学) • 6T-D19 リニアアクチュエータを用いた形状情報伝達システムに実装する 2軸制御式平面移動機構の評価 岩瀬 有真, 本吉 達郎, 増田 寛之, 澤井 圭, 高木 昇 (富山県立大学) • 6T-D20 多波長顔画像に基づくバイタルセンシングの統合的運用における 認知行動的影響の評価 藤田 龍太郎, 南雲 健人 (青山学院大学) ラムサル ビカス (鹿島建設), 野澤 昭雄 (青山学院大学) • 6T-D21 P-CUBE3の操作履歴データを用いた視覚障がい者の学習プロセス の分析 瀧田 一誠, 本吉 達郎, 澤井 圭, 増田 寛之, 高木 昇 (富山県立大学) • 6T-D22 VR空間におけるマイクロリフレッシュによる集中低下抑制効果 に関する実験研究 野村 健人, 東嶺 拓斗, 上田 樹美, 石井 裕剛 下田 宏 (京都大学), 大林 史明 (パナソニック) • 6T-P1 Web会議における聴講者の代役を含む複数身体引き込みエー ジェントの評価 櫻間 智仁, 片山 翔太, 西山 悠, 石井 裕, 渡辺 富夫 (岡山県立大学) • 6T-P2 横並びの状態における人間の視線の理解 - 見られていると感じる頭部方向の閾値について - 出口 修大 (理化学研究所/同志社大学), 港 隆史 (理化学研究所) 飯尾 尊優 (理化学研究所/同志社大学) 	<ul style="list-style-type: none"> • 6T-P3 User Interfaceに関する模範的事例を紹介するシステムの提案 とプロトタイプ開発 古瀬 友陽, 小川 大樹, 福森 聡 (香川大学) • 6T-P4 複数の実在する場所と同一である仮想環境の開発に向けた初期 試行 青柳 西藏 (駒澤大学) • 6T-P5 観光客のように歩行するNPCが仮想空間での「観光感」に 与える影響の検証 清水 凌, 安藤 雅行, 天津 耕陽, 泉 朋子 (立命館大学) • 6T-P6 VR空間における模倣に適した力加減の視覚提示手法の検討 陳 世倫, 藤原 克哉, 水戸部 一孝 (秋田大学) • 6T-P7 強化学習における転移学習を用いた多指ロボットハンド制御の 効率的な学習の検討 庄司 慧, 齋藤 正親, 水戸部 一孝 (秋田大学) • 6T-P8 VR指揮自学システムのための指揮動作の躍度による評価指標 の検討 高橋 由伸, 藤原 克哉, 水戸部 一孝 (秋田大学) • 6T-P9 革新的製品の機能の理解に至るユーザの思考プロセスの認知 モデリング 山田 和佳, 上田 一貴 (東京大学) 杉上 雄紀 (東京大学/ソニーピープルソリューションズ) 長藤 圭介, 中尾 政之 (東京大学) • 6T-P10 アームバンド型センサを用いた作業動作完了検出に基づくAR 表示切替システムの評価 井阪 由樹, 上島 康輔, 井上 剛 (大阪工業大学)

9月6日(水)

対話発表

会場：F棟1階 学生ラウンジ	
<p>6T 12:00～14:30 審査員：田中 久弥 (工学院大学) 柳澤 秀吉 (東京大学)</p>	<p>6T 12:00～14:30 審査員：中洲 俊信 (東芝) 本美 勝史 (リコー)</p>
<p>• 6T-P11 タブレット端末を活用したロボットティーチングにおける安全・安心・ウェルビーイングの追究 大石 桃未, 中野 芳秀, 麻 議夫, 田中 大樹, 安川 謙一 宮本 尚孝 (IDEC)</p> <p>• 6T-P12 スマートフォンの使用状況フィードバックが与える心理的影響と依存傾向の関心の分析 木村 航平, 藤田 欣也 (東京農工大学)</p> <p>• 6T-P13 不快なオフィス環境音暴露時の心理生理的ストレス評価 橋本 一生 (ZENKIGEN R&D / 東京理科大学) 小林 彰人 (ZENKIGEN R&D / 日本工学院八王子専門学校) 南雲 健人, 野澤 昭雄 (青山学院大学)</p> <p>• 6T-P14 自動運転車両向け遠隔操作システムを対象とした連続操作時の課題検証 安井 友徳 (三菱電機 / 立命館大学) 大津 耕陽, 泉 朋子 (立命館大学)</p> <p>• 6T-P15 全周カメラと関心提示用リングを用いた多人数遠隔ショッピング支援 鈴木 高茂, 松本 篤弥, アイヤ ドゥルーヴ (東京大学) 岸 啓輔 (凸版印刷), 安藤 真 (安藤リサーチコンサルティング) 山岸 壮太, 元浦 菜摘, 小幡 光一 (凸版印刷) 葛岡 英明, 谷川 智洋, 松本 啓吾, 鳴海 拓志 (東京大学)</p> <p>• 6T-P16 動画配信サービスにおけるコメントの感情可視化が視聴者に及ぼす影響 小松 由佳, 辰己 晶洋, 大久保 雅史 (同志社大学)</p> <p>• 6T-P17 ロボットによる発話の間が情報伝達に及ぼす影響 鍋田 隼希, 辰己 晶洋, 大久保 雅史 (同志社大学)</p> <p>• 6T-P18 ユーザの表情を模倣するバーチャルエージェントとその印象評価 渡邊 珠海 (奈良先端科学技術大学院大学) 辰己 晶洋, 大久保 雅史 (同志社大学) 清川 清 (奈良先端科学技術大学院大学)</p>	<p>• 6T-P19 背景課題への慣れに着目したVR展望記憶トレーニング中の行動解析 野田 悠一郎, 福森 聡 (香川大学), 三浦 佳代子 (長崎純心大学) 大塚 貞男 (京都大学)</p> <p>• 6T-P20 VR展望記憶トレーニング中のユーザの行動分析 - 存在想起・内容想起の識別可能性の検討 - 安井 翔梧, 福森 聡 (香川大学), 三浦 佳代子 (長崎純心大学) 大塚 貞男 (京都大学)</p> <p>• 6T-P21 読み書きに困難のある人の英語学習を支援する音声認識機能を備えたアプリの開発と利用 伊勢居 美良, 巖淵 守 (早稲田大学) 村田 美和 (高崎健康福祉大学)</p> <p>• 6T-P22 認知症高齢者のユーザビリティを考慮したタブレット型認知機能検査の改良 岡橋 さやか (国立長寿医療研究センター) 石田 敦子 (理学・作業名古屋専門学校) 植田 郁恵 (国立長寿医療研究センター) 李 相侖 (国立長寿医療研究センター/認知症介護研究・研修大府センター) 中川 威, 大沢 愛子, 斎藤 民 (国立長寿医療研究センター)</p> <p>• 6T-P23 白杖の利用データを活用した歩きづらさマップ生成システムの実装と評価 長谷川 琳太, 市野 順子 (東京都市大学)</p> <p>• 6T-P24 1型糖尿病患者への技術支援 (その3～ライフログ活用方法～) 安本 勝哉 (産業技術総合研究所)</p> <p>• 6T-P25 点字の高さと触読時の接触力の関係についての人間工学的分析 杉山 拓登 (大阪大学), 土井 幸輝 (同志社女子大学) 井野 秀一 (大阪大学)</p> <p>• 6T-P26 長時間にわたる電車の運転見合わせ時の駅チカキャンパスの活用戦略の研究 高橋 秀明, 西山 敏樹 (東京都市大学)</p> <p>• 6T-P27 車椅子利用者に向けたカスタマイズできるウェディングドレスの提案 田崎 花歩, 西山 敏樹 (東京都市大学)</p>

討論発表

A会場 (D棟1階114教室)	B会場 (D棟1階113教室)
6A1 コミュニケーション支援 14:45～16:15 座長：竹内 勇剛 (静岡大学) 副座長：竹村 治雄 (大阪大学)	6B1 交通・安全 14:45～16:15 座長：山高 正烈 (愛知工科大学) 副座長：石井 裕剛 (京都大学)
<ul style="list-style-type: none"> • 6A1-1 科学技術に対する態度の調査方法の比較 ～アンケート調査とオンライン実験の結果から～ 伊藤 京子 (京都橋大学 / 大阪大学), 江崎 和音 (立教大学) 山口 富子 (国際基督教大学) • 6A1-2 企業内メイカースペースが従業員のマインドセットに及ぼす影響 本美 勝史 (リコー), 緒方 啓史, 衣斐 秀聡, 安達 浩祐 (東芝) 三富 敬太 (慶應義塾大学) • 6A1-3 脳波をもとにした感情状態可視化によるメタバースコミュニケーション支援効果の検証 中根 愛, 宮下 広夢, 志水 信哉 (NTT) 	<ul style="list-style-type: none"> • 6B1-1 日常運航からの学習のためのフライトオブザベーション – Resilience Operation Monitoring – 狩川 大輔, 市川 慶太郎, 木村 龍一 (東北大学) 湯浅 宗也, 京谷 裕太 (日本航空) 青山 久枝 (海上・港湾・航空技術研究所 電子航法研究所) 北村 正晴 (テムス研究所) • 6B1-2 貨客混載を兼ねたマルチUD Mobilityの具現化・標準化と移動 困難者の多角的乗降環境整備の研究 田中 晴美, 西山 敏樹 (東京都市大学) • 6B1-3 バスの営業所を活用した地域交流促進方策の研究 西山 敏樹, 小木 貢, 小林 隼世, 高橋 秀明, 出田 怜央 松岡 美波 (東京都市大学)

講習会

D会場 (D棟1階106教室) 講習会 1 16:30～18:30 事例で学ぶ人を扱う工学研究の倫理	E会場 (D棟1階105教室) 講習会 2 16:30～18:30 研究テーマの昇華法 –曖昧なテーマを論文や発表資料に変えるには–
F会場 (D棟1階104教室) 講習会 3 16:30～18:30 ヒューマンインタフェース研究のための 「数理・データサイエンス・AI」とうまくつきあう方法	G会場 (D棟1階103教室) 講習会 4 16:30～18:30 メタバース /VR の教育の場への活用

9月7日(木)

討論発表

A会場 (D棟1階114教室)	B会場 (D棟1階113教室)
<p>7A1 障がい者・学習支援 9:30～11:00 座長：大森 信行 (長野県工業技術総合センター) 副座長：近井 学 (産業技術総合研究所)</p>	<p>7B1 VR・AR 9:30～11:00 座長：葛岡 英明 (東京大学) 副座長：橋口 哲志 (立命館大学)</p>
<p>・7A1-1 遠隔学習システム「志」のデジタル教材配信媒体への援用の可能性 栗木 裕貴, エルプエラ ヴォン ラルフ デイン マルケズ 今野 順, 村瀬 由加里, ペラレーズ テオドロ ラモン 高須賀 惇也, 岡崎 加奈子, 八木 良太, 松本 有紀, 菊田 知則 (愛媛大学)</p> <p>・7A1-2 声量調節に困難を抱える児童生徒の言語・音韻指導に資するマルチOSに対応するアプリ「iボイスルーラー」の開発 佐伯 龍雄 (デジタルピア) 菊田 知則, 今野 順 エルプエラ ヴォン ラルフ デイン マルケズ (愛媛大学) 戸谷 彰宏 (広島大学)</p> <p>・7A1-3 通級指導教室の児童が使いやすい眼球運動トレーニングシステムの開発 井上 耕生, 小倉 紀音 (関西学院大学), 青柳 西藏 (駒澤大学) 福森 聡 (香川大学), 山本 倫也 (関西学院大学) 井阪 幸恵 (和泉市立国府小学校) 北出 勝也 (視機能トレーニングセンター Joy Vision)</p>	<p>・7B1-1 VR空間における自己身体認知が運動に及ぼす影響 菊地 陽樹, 伊東 佳樹, 内富 寛隆, 三宅 美博 (東京工業大学)</p> <p>・7B1-2 保育メタバースワークショップ: 保育士とデザイナーによる共創 中谷 桃子, 田岡 祐樹, 籠橋 香歩 (東京工業大学) 南部 隆一 (東京工業大学 / ACTANT, Inc.) 津久井 かほる (ACTANT, Inc.) 大和田 茂 (ソニーコンピュータサイエンス研究所) 岩澤 芙弓, 長谷川 晶一 (東京工業大学)</p> <p>・7B1-3 力触覚フィードバック装置とHMDを用いた椎弓根スクリュー刺入経路計画訓練シミュレータの開発 小藪 広空, 藤原 克哉, 木村 竜太, 宮腰 尚久, 水戸部 一孝 (秋田大学)</p>

対話発表

会場：F棟1階 学生ラウンジ	
<p>7T 12:15 ~ 14:45 審査員：田中 貴紘 (名古屋大学) 石井 裕 (岡山県立大学)</p>	<p>7T 12:15 ~ 14:45 審査員：中根 愛 (NTT) 徳永 弘子 (理化学研究所)</p>
<p>• 7T-D1 VR空間操作コマンドとしてのアイジェスチャ UI 特性分析 (5) - タスク指向での直列型アイジェスチャ UI 特性分析 - 市原 瑞士 (立命館大学) Christian Arzate Cruz (立命館グローバル・イノベーション研究機構) 夏目 達也 (日立製作所), 柴田 史久, 木村 朝子 (立命館大学)</p> <p>• 7T-D2 UI/UX デザイン手法を用いたソーシャルロボットのデザイン 開発 (1) -UX デザインから創出された機能の選定と実装 - 鈴木 涼太, 上田 果奈, 山内 翔, 長田 純一 (公立ほこだて未来大学)</p> <p>• 7T-D3 見える人には見える!? ミストタイプのエージェント〈Omboo!〉 の提案 川口 諒真, 西村 駿, 長谷川 孔明, 岡田 美智男 (豊橋技術科学大学)</p> <p>• 7T-D4 ブリコロ (Bricolo): ブリコラージュ風発話生成インタフェース の構築 天野 僚, 佐々木 冬威, 長谷川 孔明, 岡田 美智男 (豊橋技術科学大学)</p> <p>• 7T-D5 ロブジェクト概念とその社会的受容性について 本所 然, 長谷川 孔明, 岡田 美智男 (豊橋技術科学大学)</p> <p>• 7T-D6 プロジェクションマッピングによる広域と狭域視点を切り替え 可能な浸水シミュレーションの可視化 大塚 泰地, 柴田 傑 (茨城大学)</p> <p>• 7T-D7 セルフケア時に施術者を想起させる AR 美容システム 荒井 観, 渡辺 智子, 豊田 成人 (資生堂)</p> <p>• 7T-D8 道具を用いた VR 体験時における接触感を構成する要因の検証 - 視覚と力覚による接触情報の提示を対象として - 森 海龍, 安藤 雅行, 大津 耕陽, 泉 朋子 (立命館大学)</p>	<p>• 7T-D9 愛犬の VR 散歩記録システムの提案 村山 葉菜, 川合 康央 (文教大学)</p> <p>• 7T-D10 外見的な個性を付与した複数台連動型セラピーロボット「マル ピー」の提案 計良 龍介, 柳澤 一機 (日本大学)</p> <p>• 7T-D11 Talkin' Closet Plus: 服からの多様な意見の発話に基づく服選び 支援システム 大津 耕陽, 辻野 拓真, 安藤 雅行, 泉 朋子 (立命館大学)</p> <p>• 7T-D12 データ駆動型深層強化学習を活用したロボット教材の提案 - 実環境でロボットを制御するための検討 - 和田 将太, 柳澤 一機 (日本大学)</p> <p>• 7T-D13 Development and Implementation of User Interface for Online Psychology Questionnaire based on User-Centered Design Yu Shaoyang, Kato Chieko, Uehara Minoru, Zheng Hongjie (Toyo University)</p> <p>• 7T-D14 特別支援学校での現場利用を考慮したボッチャシステムの開発 と評価 張 弘 (関西学院大学), 濱田 一貴 (京都大学) 中茂 睦裕 (湘南工科大学), 山本 倫也 (関西学院大学)</p> <p>• 7T-D15 床型デバイスを用いた歩容取得による個人及び性別の識別 尾崎 亮太, 伊藤 弘大, 伊藤 雄一 (青山学院大学)</p> <p>• 7T-D16 非対称振動刺激による牽引力錯覚と把持力の関係性の評価 紀伊 竜実 (大阪大学), 田辺 健 (産業技術総合研究所) 井野 秀一 (大阪大学)</p>

9月7日(木)

対話発表

会場：F棟1階 学生ラウンジ	
7T 審査員：百瀬 桂子 (早稲田大学) 福森 聡 (香川大学)	12:15 ~ 14:45
<ul style="list-style-type: none"> • 7T-D17 頸部への振動刺激による食感向上に向けた検討 大森 信行, 八木橋 展生 (長野県工業技術総合センター/産業技術総合研究所) 市川 綾花, 小木曾 加奈 (長野県立大学) 遠藤 博史, 近井 学 (産業技術総合研究所) 井野 秀一 (大阪大学) • 7T-D18 日立風流物のからくり人形のデジタル化による操作体験インタフェースの検討 片岡 隼太郎, 柴田 傑 (茨城大学) • 7T-D19 非言語音声を用いたゲーム操作インターフェースの提案 福嶋 穂倅, 川合 康央 (文教大学) • 7T-D20 Unity と Houdini による都市交通シミュレーションシステム 武谷 龍, 川合 康央 (文教大学) • 7T-D21 ライブカメラを用いた人流可視化手法の提案 西海 大愛, 川合 康央 (文教大学) • 7T-D22 自律神経活動をフィードバックする学習支援ロボットの提案 横須賀 晴鷹, 天野 陽太, 柳澤 一機 (日本大学) • 7T-D23 話者交替の可視化と立ち聞き機能により会話参加を促すバーチャルオフィスの開発 杉澤 亮太, 黒崎 航平, 藤田 欣也 (東京農工大学) • 7T-P1 聴覚障害者を対象とした情報アクセシビリティに関する事例蓄積システムの提案 渡辺 彩乃, 河野 純大, 加藤 伸子 (筑波技術大学) 	7T 審査員：山本 知仁 (金沢工業大学) 泉 朋子 (立命館大学)
<ul style="list-style-type: none"> • 7T-P2 問い合わせに対する自動受付メールへのFAQ添付による利用者サポートの半自動化の提案 根本 貴弘, 石橋 みゆき, 藤田 欣也 (東京農工大学) • 7T-P3 大学生への意識調査から見るフィルターバブルとその気づきについての検討 林 遼馬, 辰己 晶洋, 大久保 雅史 (同志社大学) • 7T-P4 歩行の阻害・促進要因に基づく啓発動画が行動変容に及ぼす影響 高見 つかさ, 辰己 晶洋, 大久保 雅史 (同志社大学) • 7T-P5 オンライン実技演習における俯瞰的視点を提示するソフトウェア「ClasScoop」の開発と有効性について 鈴木 拓弥 (筑波技術大学) • 7T-P6 オンラインコミュニケーションにおける参加人数と場の盛り上げの解析 森田 大樹, 稲垣 早紀, 瀬島 吉裕 (関西大学) • 7T-P7 ドライビングシミュレータによるドライバ状態推定 平島 佳典, 高橋 宗汰 (東北大学) 上四元 謙, 太刀岡 俊樹, トリニエ オリヴィエ (アルプスアルパイン) 高橋 信 (東北大学) • 7T-P8 中学生の「健やかな成長」と「学習の個性化」を促す自己探究—GIGA 端末と AOS (Assessment Operation System) の連携— 福本 理恵 (SPACE), 村田 美和 (高崎健康福祉大学) 尾崎 雄 (SPACE), 仲井間 善之 (鎌倉市立中学校) • 7T-P9 自動運転における段階的な警報の有効性とドライバーの挙動に関する研究 野々山 大信, 高橋 信 (東北大学) 	
HI2023 大会長挨拶・HI2024 アピールタイム・企業展示アピールタイム (会場：E棟2階 201 教室) 15:00 ~ 15:30	
特別講演 (会場：E棟2階 201 教室) 15:30 ~ 16:30	
ミニ講演 in JAXA 17:00 ~ 17:45	
イブニングセッション in JAXA 18:00 ~ 20:00	

会場：F棟1階 学生ラウンジ	
7T 12:15 ~ 14:45 審査員：加藤 直樹 (東京学芸大学) 浅野 陽子 (NTT テクノクロス)	7T 12:15 ~ 14:45 審査員：岡橋 さやか (国立長寿医療研究センター) 吉田 悠 (日本大学)
<ul style="list-style-type: none"> • 7T-P10 他者や自己の後ろ姿の映像がオンライン講義への集中や理解に及ぼす影響 岡 大誠, 辰己 晶洋, 大久保 雅史 (同志社大学) • 7T-P11 あおり運転生起時の前方および後方車間距離の一考察 山高 正烈 (愛知工科大学), 荒川 俊也 (日本工業大学) 早見 武人 (北九州市立大学) • 7T-P12 市場機能を持つ鉄道車輛を活用した鉄道経営改善手法の研究 小林 隼世, 西山 敏樹 (東京都市大学) • 7T-P13 フィードバック制御に基づく非接触温覚提示装置の開発 名嘉村 和真, 許 佳禱 (筑波大学), 長谷川 晶一 (東京工業大学) 家永 直人, 黒田 嘉宏 (筑波大学) • 7T-P14 深部感覚の正確性とVRによる視覚刺激が引き起こす重量知覚の関係の調査 前田 隼輔, 山崎 凛太郎, 天野 駿吾, 福森 聡 (香川大学) • 7T-P15 単純加算課題中の視線計測に基づくACT-Rを用いた認知行動モデル構築の試み 竹内 恵祐, 上田 樹美, 石井 裕剛, 下田 宏, 大林 史明 (京都大学) • 7T-P16 事象関連電位測定のための味覚刺激提示装置の製作・評価 小板橋 歩, 平山 健人, 百瀬 桂子 (早稲田大学) • 7T-P17 音を用いたマイクロリフレッシュが知的作業中の執務者に与える影響に関する研究 東楨 拓斗, 野村 健人, 阿部 玲華, 上田 樹美, 石井 裕剛 下田 宏 (京都大学), 大林 史明 (パナソニック) 	<ul style="list-style-type: none"> • 7T-P18 建設機械を操作中のオペレータの注意の余裕容量を事象関連電位 (P300) から推定するシステムの開発 北川 昌樹, 上田 一貴, 山田 和佳, 植弘 雄斗 (東京大学) 中田 和志, 辻本 直樹, 村田 和寛 (コマツ) 中尾 政之 (東京大学) • 7T-P19 PC作業者の集中度と誤打鍵認知時間の関係の分析 林 武志, 佐伯 怜祐, 日高 敦仁, 藤田 欣也 (東京農工大学) • 7T-P20 「やさしさインプリント」による環境配慮行動の促進効果に関する研究 橋本 和東, 上田 樹美, 石井 裕剛, 下田 宏 (京都大学) • 7T-P21 非集中状態におけるかな漢字変換結果確認時間増加の認知科学的妥当性 佐伯 怜祐, 林 武志, 山本 伊吹, 藤田 欣也 (東京農工大学) • 7T-P22 人からロボットへの説明時に現れる無意識動作の分析 小林 隼, 金 宣経 (筑波大学) • 7T-P23 車いす使用者のための筋電操作型ハンドリム把持制御システムの開発 千田 凌雅, 関 弘和 (千葉工業大学) • 7T-P24 ストロークの太さが漢字の判断に及ぼす影響 森江 克海, 福田 圭祐, 矢内 浩文 (茨城大学) • 7T-P25 上腕部筋電位を利用した電動アシスト車いすの片漕ぎ走行制御システムの開発 正野 紗矢香, 関 弘和 (千葉工業大学) • 7T-P26 視覚障害者用触地図の分類と作成方法 渡辺 哲也 (新潟大学)
HI2023 大会長挨拶・HI2024 アピールタイム・企業展示アピールタイム (会場：E棟2階 201 教室) 15:00 ~ 15:30	
特別講演 (会場：E棟2階 201 教室) 15:30 ~ 16:30	
ミニ講演 in JAXA 17:00 ~ 17:45	
イブニングセッション in JAXA 18:00 ~ 20:00	

9月8日 (金)

討論発表

A会場 (D棟1階114教室)	B会場 (D棟1階113教室)
8A1 UX1 9:30 ~ 11:00 座長：瀬島 吉裕 (関西大学) 副座長：井上 全人 (明治大学)	8B1 生体信号処理 9:30 ~ 11:00 座長：杉浦 裕太 (慶應義塾大学) 副座長：藤野 秀則 (福井県立大学)
<ul style="list-style-type: none"> • 8A1-1 遅延のある操作系における操作者モデルの提案：能動的推論を用いたアプローチ 磯野 将希 (東京大学), 下坂 正倫 (東京工業大学) 柳澤 秀吉 (東京大学) • 8A1-2 利用者個々の知的機能に適応可能な大規模言語モデルを用いたウェブブラウザ向けテキスト変換システム 武藤 英樹, 小木 哲朗 (慶應義塾大学) • 8A1-3 HCI研究における「インタフェース」「インタラクション」「デザイン」の表現の変遷 伊賀 聡一郎 (エクスパーク), 鉄川 弘樹 (ソニーグループ) 	<ul style="list-style-type: none"> • 8B1-1 音声ユーザインタフェースと頸髄損傷者の音声特徴の関係の分析 寺師 良輝, 林 哲生, 藤原 勇一, 小林 博光 (総合せき損センター) • 8B1-2 骨格検出技術を用いた二次元画像のモーフィングシステムによる三次元空間表現とインタラクティブ性向上 -人とアートの協調を目指して- 安井 彩乃, 長谷川 敦士 (武蔵野美術大学) • 8B1-3 Gait Phase Detection by Shank worn IMU and Deep Learning Yuanjian Jin, Hiroataka Uchitomi, Yoshihiro Miyake (Tokyo Institute of Technology)

ワークショップ

企画

H会場 (D棟1階115教室)	F棟1階 学生ラウンジ
WS3 11:00 ~ 12:30 「道具」としての人工知能との関係を考える	11:00 ~ 12:30 学生ランチョン!!

C会場 (D棟1階107教室)

8C1 学習・教育 9:30 ~ 11:00

座長：五福 明夫 (岡山大学)

副座長：青柳 西藏 (駒澤大学)

• 8C1-1

バイオフィードバックを用いた学習支援ロボット Ovot の開発
と検証

葦川 颯人, 横須賀 晴鷹, 柳澤 一機 (日本大学)

• 8C1-2

バイオフィードバックを用いた学習支援におけるロボットと
バーチャルエージェントの支援効果の比較

柴崙 大勝, 柳澤 一機 (日本大学)

• 8C1-3

STEAM 教育や探究型の学びに資するウェブシステム「PLIJ
STEAM Learning Community」の構築

木曾 宏顕 (学びのイノベーション・プラットフォーム)

9月8日(金)

討論発表

A会場 (D棟1階114教室)	B会場 (D棟1階113教室)
<p>8A2 コミュニケーションデザイン 12:30～14:00 座長：大林 史明 (パナソニック) 副座長：赤津 裕子 (沖電気工業)</p>	<p>8B2 VR・AI 12:30～14:00 座長：岩木 直 (産業技術総合研究所) 副座長：安在 絵美 (奈良女子大学)</p>
<p>• 8A2-1 リモートワークの帰属意識強化を目的としたオフィス空間映像提示による雰囲気伝達 中里 拓也, 古永家 佳大 (青山学院大学) 橋本 一生 (ZENKIGEN / 東京理科大学) 小林 彰人 (ZENKIGEN / 日本工学院八王子専門学校) 岩本 慧悟 (ZENKIGEN / 東洋大学) 南雲 健人, 野澤 昭雄 (青山学院大学)</p> <p>• 8A2-2 発話音声を活用した接客業務訓練可視化システムの開発 近井 学, 緒方 淳, 瀧澤 大吾, 水浪 田鶴 (産業技術総合研究所) 大曲 哲雄, 遠藤 圭悟, 伊藤 州平, 中田 幸江, 名倉 千紘 (全日本空輸) 佐藤 洋 (産業技術総合研究所)</p> <p>• 8A2-3 新たな視座を得るためのグループ対話モデル 緒方 啓史, 永田 博一 (東芝), 三上 龍之 (トリプルデザイン) 外川 綾音 (Laere), 若林 稔 (東芝), 大本 綾 (Laere)</p>	<p>• 8B2-1 体外離脱体験の視聴覚同期刺激への拡張 餌打 優太, 内富 寛隆, 三宅 美博 (東京工業大学)</p> <p>• 8B2-2 VR空間におけるアバタとの協調歩行が身体化感覚に及ぼす影響 小島 寛太郎, 内富 寛隆, 緒方 大樹, 三宅 美博 (東京工業大学)</p> <p>• 8B2-3 遠隔存在感のモデル化とアバターロボットの介入挙動設計への応用 宮口 拓真, 柳澤 秀吉 (東京大学)</p>
<p>タウンホールミーティング (会場：F棟1階 学生ラウンジ) 14:15～15:15</p>	
<p>閉会式・プレゼンテーション賞表彰式 (会場：F棟1階 学生ラウンジ) 15:15～15:30</p>	

C会場 (D棟1階107教室)

8C2 UX2 12:30 ~ 14:00

座長：山家 優理子 (リコー)

副座長：杉浦 裕太 (慶應義塾大学)

・8C2-1

新介護サービス導入に向けた現場職員動機づけの質的分析

徳永 弘子, 井原 雅行 (理化学研究所), 村上 宏樹 (白川病院)

古賀 昭彦, 行平 崇 (理化学研究所 / 帝京大学)

前田 亮一 (理化学研究所 / UD ワーク)

猿渡 進平 (理化学研究所 / 白川病院), 竹下 一樹 (白川病院)

久野 真矢 (理化学研究所 / 県立広島大学)

本江 正茂 (理化学研究所 / 東北大学)

・8C2-2

UX デザインのコンセプトと価格の評価

ーコンセプトテストにおける価格評価の構造と課題ー

安藤 昌也 (千葉工業大学)

齋藤 亨, 前川 元貴, 吉田 森彦, 小林 英樹 (トヨタ自動車)

・8C2-3

衣服を想像上で着用したときに与える印象を観察者が評価する際の空間視線分布の調査

岩崎 芙由子, 井上 路子, 西山 正志 (鳥取大学)

タウンホールミーティング (会場：F棟1階 学生ラウンジ)

14:15 ~ 15:15

閉会式・プレゼンテーション賞表彰式 (会場：F棟1階 学生ラウンジ)

15:15 ~ 15:30

Human Interface 2023



●会場

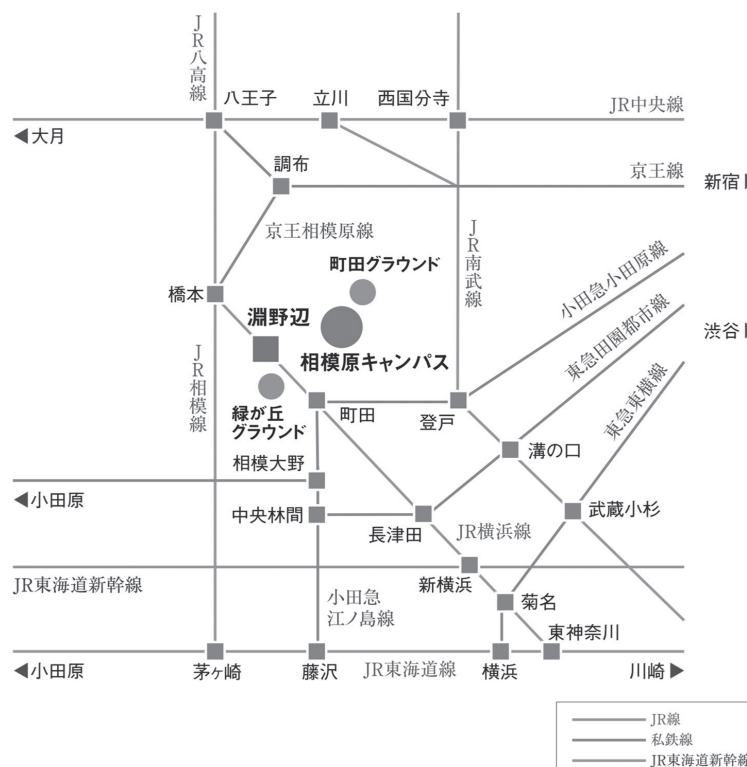
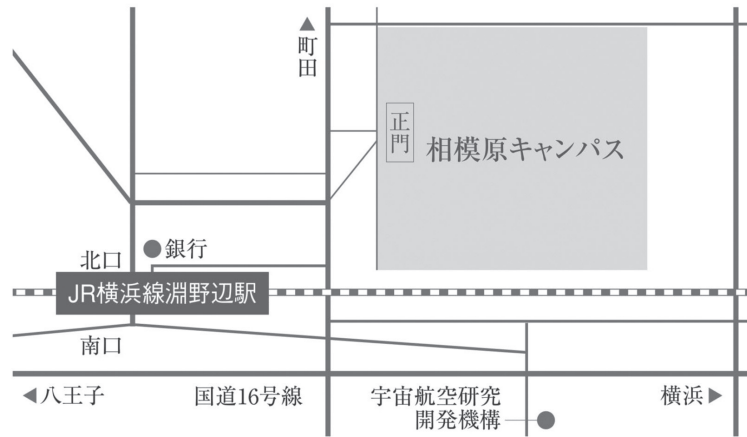
青山学院大学 相模原キャンパス

住所：神奈川県相模原市中央区淵野辺 5-10-1

※受付はF棟1階学生ラウンジとなります。

●アクセス

JR 横浜線「淵野辺駅」より徒歩約7分



ヒューマンインタフェースシンポジウム

Human Interface 2023

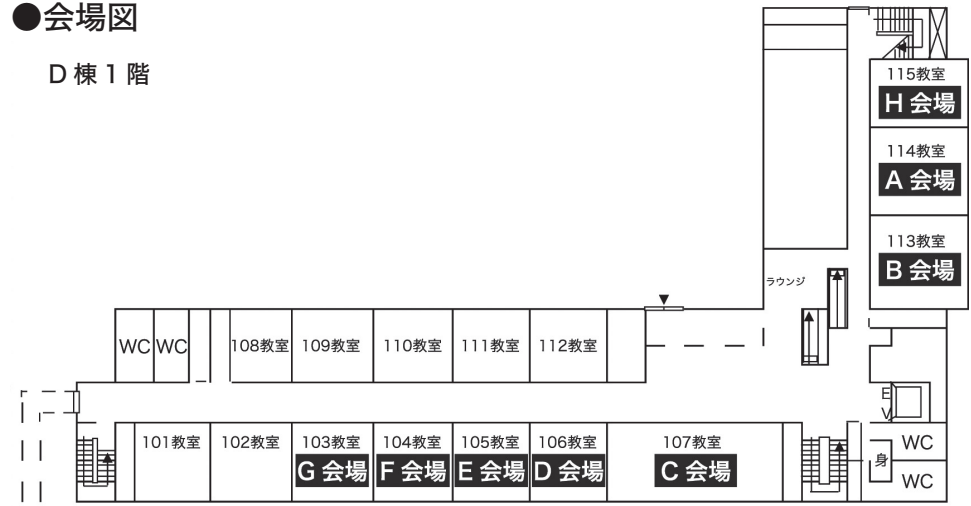


●キャンパスマップ



●会場図

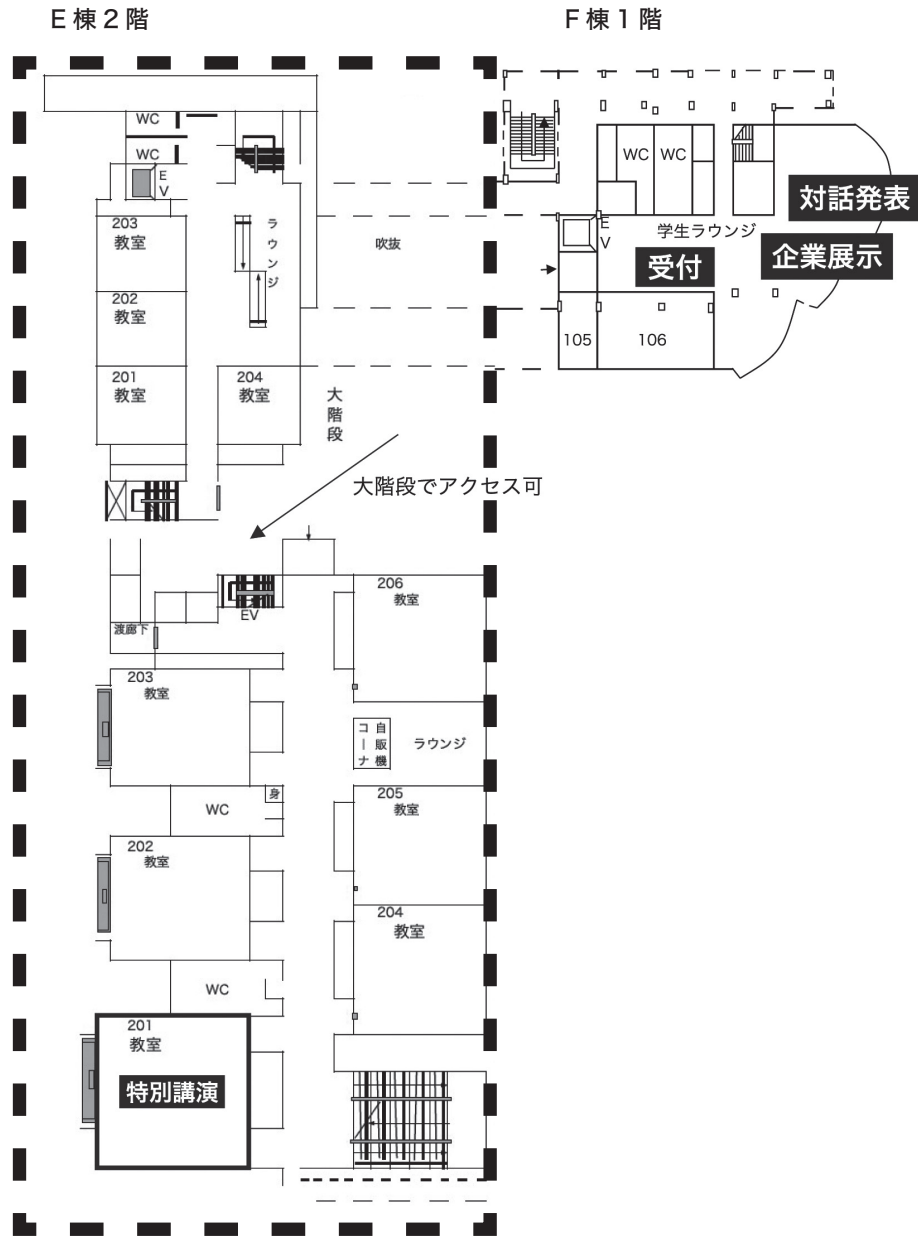
D棟 1階



Human Interface 2023



●会場図



Human Interface 2023



●参加費と参加申込

■参加費

	早期割引参加費 (7/12(水)まで) (3)		通常参加費 (7/13(木)以降)	Evening Session
	《発表と聴講》	《聴講》	《聴講》	
学会員 協賛会員	13,000- (1)(2)	13,000- (2)	15,000- (2)	4,000- (5)
非会員	21,000- (1)(2)	21,000- (2)	24,000- (2)	
学生会員 協賛会員	13,000- (1)(2)	2,000- (2)	2,000- (2)	
非会員学生	21,000- (1)(2)	9,000- (2)	10,000- (2)	
資料のみ	-	8,000- (4)	8,000- (4)	-

※表示価格には税金が含まれております。

(1) 発表原稿提出前に参加費支払いと参加登録が必要です。なお、一人で複数発表の場合、件数分の参加費が必要です。

(2) 参加費には、講習会・ワークショップ・オンライン論文集代金が含まれております。

(3) 早期割引参加費は2023年7月12日(水)以前にお支払いを完了された方に限り適用となります。

(4) 後日送付となりますので別途送料が必要となります。

(5) JAXAにてミニ講演会およびEvening Sessionを開催いたします。
会場までは、お申し込み者様専用のシャトルバスが運行いたします。
※ミニ講演会+Evening Sessionは別途申込みが必要となります。

■申込方法

・ <https://his-symposium2023.peatix.com/> からオンライン申込できます。

※ Peatix による参加登録になります

■お問合せ先

特定非営利活動法人

ヒューマンインタフェース学会事務局

〒600-8815

京都市下京区中堂寺栗田町 93 番地

京都市リサーチパーク 6 号館 3 階

TEL : 075-315-8475 FAX : 075-326-1332

E-mail : his-symp@his.gr.jp

URL : <https://jp.his.gr.jp/symposium/symposium2023/>

Human Interface 2024 KYOTO

ヒューマンインタフェースシンポジウム
2024

開催予告

2024年9月18日(水)～20日(金)

京都大学 吉田キャンパス

●発表形式と内容

討論発表 (口頭発表 15分+討論 15分) (予定)

新しい研究成果についての口頭発表とその討論。特に、研究の結果について、フロアとの活発な議論をご希望の方にお勧めします。

対話発表

実機や実演を取り込んだ対話形式による発表です。

参加者の投票によるプレゼンテーション賞の表彰を予定しております。

企業展示

ヒューマンインタフェース関連の製品や商品の紹介を歓迎します。

●発表申込

学会ホームページ (<https://jp.his.gr.jp/>) をご覧下さい。

●問合せ先

特定非営利活動法人 ヒューマンインタフェース学会事務局

〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町 93 番地

京都市リサーチパーク 6号館 3階

TEL : 075-315-8475 FAX : 075-326-1332

E-mail : his-symp@his.gr.jp

URL : <https://jp.his.gr.jp/>